

3類型	農林水産物	通巻番号	10-29-009
地域資源名	バナナ、パッションフルーツ、ドラゴンフルーツ、 パパイヤ、ゴーヤー、パインアップル	認定日	平成29年10月13日
地域	沖縄県南城市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：沖縄県産『琉球もちっ娘』バナナ等のトロピカルフルーツを活用した商品開発と販路開拓事業

会社名：株式会社 シードウィン

所在地：沖縄県南城市大里仲間 1148-1(2F)

連絡先：TEL：098-852-7791
FAX：098-852-7792

HP：<http://seedwin.net>

事業概要(地域産業資源の活用)

バナナは、収穫までに約15ヶ月の期間を要します。シードウインのバナナ栽培も栽培スタートから台風による自然災害に直面し栽培開始から5年間は予定収穫量の1割程の収穫しか出来ませんでした。それでも、沖縄から安心安全な美味しいバナナを全国へ出荷したいと思う気持ちと、これまで5年間で蓄積した栽培データを基に独自の栽培技術を確認し、平成28年に県産バナナの生産に成功致しました。今回収穫時に出てくるA品以外のB・C品を活用した商品開発に取り組みます。



【琉球もちっ娘 バナナ】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

国内産バナナの収穫量は年間約100t 外国産バナナは100万tが輸入されています。国内産の需要に対し供給が不足している現状から市場性はあると考えます。

◆需要の開拓の方針

防腐剤処理や燻蒸処理した外国産バナナに比べ、健康志向の方々を中心に安心安全な自然栽培に拘る国内産バナナの需要が年々上昇傾向にあります。ビニールハウスや暖房設備、農薬や肥料等を使用しない、露地栽培の『琉球もちっ娘』バナナの評判も良く、ブランドを活かした加工品の投入にも追い風になると考えます。

◆商品特性

店舗販売しているバナナジュースを自宅で簡単に作れる冷凍加工商品『家でも作れる簡単バナナジュース』をシリーズ化。A品以外のB・C品を活用し、冷凍することで賞味期限を延ばし、取引先や消費者が取り扱いやすい商品を開発します。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

『琉球もちっ娘』バナナと命名し、商標も取得。バナナの原料確保に関しては、共同農営のトロピカルファームの城間正守代表、南城市商工会とも連携し、地域ブランドとして知名度を上げていきたいと考えています。



【東京・東銀座
バナナジューススタンド】



【琉球もちっ娘
バナナジュース】